

# 包装技術講習会

～ワンウェイ段積み治具の開発と

コロナ禍で変化した社会におけるパッケージングの模索～

日時	2022年11月9日(水) 13:30~16:40
会場	「Zoomウェビナー」を利用したオンラインセミナー形式 ※お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内いたします。
参加費	無料

## プログラム

### 【コーディネーター】

笹徳印刷(株) 企画制作本部 PCCグループ グループマネージャー (包装管理士) 北原 圭介 氏  
あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室長 山本 晃司 氏

13:35~14:40

### 『ワンウェイ段積み治具の開発』

(株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部 ロジスティクステクノロジー部  
(包装専士) 金井 俊介 氏

(1)自身の経歴紹介、(2)日立物流のご紹介、(3)本論のアジェンダで講演させていただきます。本論の背景として、混載での海上輸送の積載率の悪さが課題としてあり、段積み治具の検討開始を致しました。鋼材製の段積み治具は従来より存在するものの、高額な為、リターンが必須であること、リターンが為の管理工数が莫大であること、治具の組立がむずかしいこと、などの理由で輸出入では普及していませんでした。そこで、ワンウェイに着目し、検討を行い、試行錯誤の末、開発に成功しました。

14:40~14:50 休憩

14:50~16:40

### 『COVID-19 Pandemic で変化した社会におけるパッケージングの模索』

住本技術士事務所 所長 (包装管理士) 住本 充弘 氏

Covid-19 Pandemic の社会への影響は非常に大きく、考え方、社会システムが大きく変化した。Beyond Covid-19 Pandemic で既に世界は動いている。包装においても Covid-19 Pandemic 中に世界は包装の重要性を再認識し、安心・安全を一段と求めるようになった。また SDGs 対応、Circular Economy 対応で循環型パッケージへ大きく舵が切れ特にプラスチック包装は循環型ポリマーの利用促進に向けて世界は早いテンポで動いている。今回は環境対応だけでなく、包装の重要な機能性や包装に対する考え方の変化も変化してきている。国内外の事例を説明し今後の対応すべき方向を模索する。

### 【注意事項とお願い】

「Zoom ウェビナー」を利用したオンライン形式で開催いたします。下記の内容について、事前にご確認ください。

- ①ご利用の端末への Zoom アプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- ②接続回線の状況等により視聴し難い場合があります。通信費・接続利用料金等は、参加者の自己負担となります。
- ③参加申込をいただいた方には、Eメールで参加手順等をご案内いたしますので、事前にご確認ください。
- ④本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得等によるデータ保存行為を固く禁止します。また、講演資料は参加者のみの利用に限定しますので、無断で複写・配付・公開する等の行為を行わないでください。